

JA松任青年部

YOUTH SITE



## 【出城地区青年部 しいたけ原木菌打ち作業に奮闘】

～出城地区青年部～

我等、出城青年部伝統行事である、しいたけ原木菌打ち作業を3月19日(土)に行いました。出城青年部活動として、しいたけ原木の生産・販売を行っています。去年も菌打ち作業を経験した盟友が慣れた手つきで作業を行い、盟友はその光景を見ながら悪戦苦闘しながらも、一本一本丁寧に作業を行っていました。



現在、ご注文頂いた方々に配布を行っている段階ですが、「今年も楽しみにしとつたんや。また頼むわ。」「前のやつおっきいになったぞ。」など、嬉しいお言葉を頂き、この活動をやって良かったなと思えました。

今後、出城青年部の先輩方が築いた伝統を守り、青年部と地域の架け橋となるしいたけ原木の生産・販売を継続していきます。

## 【春の恒例行事 (ポン菓子作り)】

～御手洗地区青年部～

2月27日(土)にポン菓子を赤、黄、緑、白の4色を作り、園児たちに配れるように袋に詰め用意し、3月3日(木)地元のはまなす保育所で行われたひな祭りに御手洗青年部で参加してきました。

毎年ひな祭り会場には、チョコキン魚と一緒に参加し、園児たち

に一人一人にポン菓子を配りました。今年は、年長の園児たちが、チョコキン魚のバッジを作り首からぶら下げ、私たちに見せてくれました。

また、チョコキン魚に興味津々で動かたばに反応していました。質問では、「どこから来たの?」「好きなたべものは?」等々、予想外の内容でこまりました。お別れの際には、チョコキン魚に触りたく中々帰してはくれませんでした。

園長先生から「夏の行事にも参加できない?」と打診され、機会があれば、参加していきたいと思いました。

今年の御手洗地区は、ポン菓子作りをはじめ、盟友が参加しやすい青年部活動を目指して、頑張っていきたいと思っています。



## 【盟友・家族ボウリング大会】

～中央支部青年部～

中央支部青年部の新年度最初の行事である「ボウリング大会」を3月6日(日)に御経塚グランドボウルにて、盟友とその家族、約20名の参加のもと盛大に開催しました。

開始から「おりゃー」「つわあ」といった叫び声が聞こえ始め、ストライクを取って飛び跳ねガッツポーズの人、気合が入りすぎたのか、ボールを投げたとほぼ同時にガーターに落ちてしまっ人、ボウリングのピンの被り物を被り周囲をなごませる人など(※本人の希望により掲載されている写真は後姿の写真となっています。笑)笑顔と笑い声が絶えず大盛り上がり。

終了後の懇親会で、さらに親睦を深めるとともに、盟友やその家族が参加しやすい環境を作り、さらに多くの盟友を勧誘していきたいと思っていました。



## 【宮保青年部、今年も餅つきに奮闘】

（宮保地区青年部）

2月28日（日）、2016年度初めての青年部活動として「宮保文化展」に盟友23名が参加し、餅つきを行いました。「宮保文化展」は、前日の2月27日（土）と2日間にわたり開催しており、宮保公民館が主体となり毎年宮保地区住民が多数参加しています。

2日間の間は公民館の体育館に宮保地区住民が制作発表の場でもあり、たくさんの方々が来場者もとても喜んでいました。

また2階では、マッサージの無料体験も行っており、住民の方々には日々の疲れをとって頂く最高の癒しの空間となりました。

そして、大ホールでは青年会がうどんを担当し、我々宮保青年部は餅つきを担当しました。

昔ながらの臼と杵を使つての慣れない餅つきのため、婦人部の方々からご指導いただきながら、餅つきを行いました。毎年多くの人達がまだかまだかと大行列をつくりませんが、多くの盟友の参加もあり、皆で楽しくおいしい餅をつく事が出来ました。

今年も手返しの人手を青年部で行い、ベテランの方のアドバイスを頂きながら、楽しく汗をかきながら餅をつきました。

また威勢のよい音とともに、「よいしょー。」と掛け声も重なり、会場は熱気にあふれた文化展となりました。

つきあがったお餅は、宮保婦人部の方々によって素早く、あんどやきなど、大根おろしに包まれ、住民の方々に振る舞われました。

これからも地域の行事に積極的に参加し地域を盛り上げ、またその中で新盟友を獲得し更なる地域貢献をしていき、地域になくてはならない青年部活動を行っていきます。



## 【酒蔵見学を通して地域交流と知識継承へ】

（山島地区青年部）

（株）吉田酒造店さんは古くから地元産の酒米を使用していますが、近年は酒米の生産が減少傾向にあり、安定した供給が出来なくなっていました。その為山島地区では「山島の郷酒米振興会」を発足し、「五百萬石」を栽培しています。我々山島青年部もその一員として酒米づくりに関わっており、その酒米を使用して清酒が作られる工程の見学と利き酒をする機会を頂きました。

昨年は盟友のみで行っていた酒蔵見学も、今回は青年部OBの方にも数多くご参加を頂き、若手盟友とふれ合って頂きました。

見学終了後は山島公民館で、JA松任の役員もご参加頂き、「手取川」を飲みながら懇親会を行い、酒米栽培に関しての意見交換を交わしました。

年々、青年部では卒業と新盟友の参加で変わる顔ぶれの中、普段OBの方との馴染みの無い世代も多く、自分たちが携わったお酒を飲みながら交流をする事で、酒米栽培についての知識や親睦を深める事が出来ました。

今後も山島青年部は、地域の多くの方々との交流を深め、色々な知識や技術を学び、清酒の地産地消の推進に取り組んでいきます。

